

令和7年度 政策討論会 第2分科会（第4回）要点記録

- ・日時 … 2025年8月12日(火) 午前10時から
- ・場所 … 議会会議室
- ・会議時間 … 10:00 ～ 10:23
- ・出席者 … 永野 紗代(座長)
河合 達雄(副座長)
藤原 豊和
田中 市子
宇野 真悟
烏野 隆生
栢原 佳一
米田 貴志 (座長、副座長以下は議席番号順)

・議事内容

テーマ「学校給食で地産地消を進めるには」について、前回の理事者招聘により得た情報、またこれまでの分科会で出た意見を踏まえ、提言作成に向けて協議した。

※発言要旨は別紙(順不同)

・決定事項

(1) これまでの意見を取りまとめ、正副座長で提言書の骨子案を作成する

(2) 次回の政策討論会

- ・次回討論会の日時場所は10月7日(火)10時～＜第2委員会室＞に於いて開催
- ・骨子案をもとに協議する予定

【 発言要旨 】 (順不同)

①藤原議員

公民からそれぞれ農水産業に関わる方や学校給食に関わる方達が集まり地産地消の推進について話し合う場を設ける事を提案し、その中で具体的にどのような取り組みをするのかについて当事者に考えていただければ実効性の高い取り組みになると思う。

②末原議員

目的は食育と地域の農水産物の利用促進。

その為には農林水産課、学校給食課、ＪＡ、漁連等の担当者として協議体をつくる。

③田中議員

前回烏野議員からも提案があったがコーディネーターに入ってもらうのも有効。

国の事業で「地産地消コーディネーター派遣事業」というものも実施されている。

④米田議員

学校給食において地産地消を推進する目的についてまずは明確にし、その目的を達成する手段としてどんな取り組みをすれば良いのか。と言う点をまとめ次にそれらを構築する為の体制づくりについて提案すると言う３点で構成する提言書もしくは提案書とすれば良いのではないかと。

１点目、目的についての考え方はこれまでの議論を踏まえると「食育」という点では共通しているが「地産地消」から鑑みると「食育」ともう一点「地域の農水産物への貢献」を目的として加える事が必要ではないかと。

２点目、取り組みについては地場の農水産物の獲れ高、産品の把握等専門的知識を有する市内の漁連やＪＡにもアドバイスをいただき国の制度である地産地消派遣事業を含めた活用を考えるべきではないだろうか。

３点目、体制づくりについては学校給食課、栄養士、漁連、ＪＡ、国の制度(地産地消派遣事業)を活用したアドバイザー達が協議できるテーブル(協議体)を設置し仮称『学校給食地産地消チーム』の派生に繋がり互いに連携がとれる様になれば良いのではないだろうか。